

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和3年度 第2回高松市文化芸術振興審議会
開催日時	令和4年2月24日(木) 19時00分～20時00分
開催場所	高松市役所 11階 114会議室
議 題	(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について (2) その他、今後のスケジュールなど
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
出席委員	青山委員、金川委員、鹿庭委員、北岡委員、島田委員（副会長）、多田委員、田中委員、橋本委員（会長）、三木委員、水嶋委員、若井委員 計11人 (欠席4人 甘利委員、鎌田委員、木ノ下委員、林委員)
傍 聴 者	0人 (傍聴席4人程度を確保)
担当課及び連絡先	高松市文化芸術振興課 087-839-2636

審議経過及び審議結果
<p>会議を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。 審議会の公開・非公開について審議がなされ、公開の決議がなされた。</p> <p>(1) 高松市文化芸術振興計画に掲げる事業の取組状況について 令和元年5月に策定にされた「第2期高松市文化芸術振興計画」に掲げる事業の取組状況について事務局から説明し、次のとおり意見があった。</p> <p><屋島山上交流拠点施設整備事業について> (委員) ・屋島山上交流拠点施設について、5月に工事が終了するが、供用開始が8月とはどういうことか。 (事務局) ・建物の外構を含めた建設工事の終了は5月であるが、建物内部の備品の搬入等の作業があるため、供用開始は8月頃からとなる。</p> <p>(委員) ・開館に当たり、イベント等は検討しているのか。 (事務局) ・文化芸術や観光関係等の様々なイベントを検討している。</p> <p><イベント事業全般について> (委員)</p>

・イベントのリピーター率の確認等を行っているのか。

(事務局)

・事業の満足度等に関しては確認しているが、リピーター率の確認はできていない。

<学校教育に関する事業について>

(委員)

・文化芸術を育てていくためには、文化芸術を応援する人も必要であり、応援する人を増やすためにも、子ども達に文化芸術に親しんでもらうことが重要であると考えているが、高松市は学校教育に対し、どのような取組を行っているのか。

(事務局)

・学校巡回芸術教室や能楽教室等の取組を行い、子どもたちが文化芸術に触れられる機会を創出しているが、十分でない部分に関しては、今後構築を目指している、高松版文化芸術プラットフォームの中において検討したい。

(委員)

・障がいを持つ子どもや特別支援学校に向けた文化芸術に触れる機会が少ないと感じており、機会を増やしてもらいたい。

(事務局)

・美術館において、一部の展示品に触れることができる等、体験型の取組を行ったことがある。障がいを持つ方が、文化芸術に触れる機会を創出することは重要だと考えており、今後も取組を検討していきたい。

<伝統的もの作り学校巡回教室、香川漆芸魅力発信戦略事業、伝統的もの作り観光・資源 PR 事業について>

(委員)

・事業が廃止となっているが、何か理由があるのか。

(事務局)

・高松市伝統的ものづくり振興条例の策定から10年という節目を機に、取組内容を見直し、各団体の意見を取り入れながら、従来とは別の事業として実施することを検討しているため、廃止としている。

<創造都市推進局公式 SNS の活用>

(委員)

・より効果的な情報発信となるように、取り組んでいることはあるか。

(事務局)

・SNS の運用を開始して10年となり、形骸化している部分もあるため、令和4年度より、創造都市推進局の Facebook に関して運用の見直しを検討する予定である。

<ナイト観光イベント事業・夜間ライトアップ事業・「AR・VR 高松城」事業について>

(委員)

- ・なぜ、令和2年度と比べ令和3年度の予算が減っているのか。

(事務局)

- ・夜間ライトアップ事業が廃止となったためである。

<令和4年度の予算について>

(委員)

- ・令和4年度の予算について、来年度はどのような取組に注力していくのか。

(事務局)

- ・予算の多寡に限らず、アフターコロナ・ポストコロナの時代を見据えた取組に注力していきたい。

<文化奨励賞受賞者記念披露事業（仮称）について>

(委員)

- ・高松市文化奨励賞新人部門受賞者の展覧会の会期が短い理由はあるのか。

(事務局)

- ・受賞者との打ち合わせにより、受賞者の希望した会期で開催している。今後も受賞者の意見を聞きながら会期を設定していきたい。

以 上